

○職員の再任用に関する条例

制 定 平 22. 3.26 条例 1

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号。以下「法」という。）第 28 条の 4 第 1 項、同条第 2 項及び第 3 項（法第 28 条の 5 第 2 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、職員の再任用（法第 28 条の 4 第 1 項又は第 28 条の 5 第 1 項の規定により採用することをいう。以下同じ。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(定年退職者に準ずるもの)

第 2 条 法第 28 条の 4 第 1 項に規定する定年退職日以前に退職した者のうち勤続期間等を考慮して法第 28 条の 2 第 1 項の規定により退職した者又は法第 28 条の 3 の規定により勤務した後退職した者に準じて再任用を行うことができる者は、次の各号に掲げる者とする。

(1) 20 年以上勤続して退職した者（これに準ずると管理者が認める者を含む。）であってその退職した日の翌日から起算して 5 年を経過する日までの間にあるもの

(2) 前号に該当する者として再任用をされたことがある者（同号に掲げる者を除く。）

(任期の更新)

第 3 条 再任用の任期の更新は、職員の当該更新直前の任期における勤務実績が良好である場合に行うことができるものとする。

2 管理者は、再任用の任期の更新を行う場合には、あらかじめ職員の同意を得なければならない。

(任期の末日)

第 4 条 再任用を行う場合及び再任用の任期の更新を行う場合の任期の末日は、その者が 65 歳に達する日以後における最初の 3 月 31 日以前でなければならない。

(施行の細目)

第 5 条 この条例の施行に関し必要な事項は、管理者が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。